



地域と学校をつなぐ!!

春校だより 11月号

令和3年 11月6日

静岡県立天竜高等学校春野校舎

◇ 副校長あいさつ ◇

「努力の先にある未来」

猿田かおる

私が春野校舎に勤務するようになり4年目となりました。この間に3回卒業生を送り出し、4回新入生を迎えました。そして、春野校舎は多くの保護者の皆さんや地域の皆さんに見守られながら生徒たちと共に歩んで参りました。

社会の情勢に目を向けると新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、収束する兆しがまだ見えてきていません。そのような状況下で東京オリンピック、パラリンピックが開催されたのは記憶に新しいところです。自国開催ということもあり、日本代表の選手たちの活躍には目を見張るものがありました。卓球混合ダブルスで金メダルに輝いた水谷隼選手、伊藤美誠選手をはじめ静岡県に縁のある選手たちもたくさんいました。まさにテレビから目が離せなかったことが思い出されます。

そんな目の離せない戦いが多かった中でも、私が最もテレビに釘づけになったのはパラリンピック競技の「ボッチャ」でした。「ボッチャ」は脳性まひなどで比較的重い運動能力に障害のある人のために生まれたスポーツです。白い目標球に赤、青それぞれ6球ずつボールを投げ、いかに近づけるかを競います。今回のパラリンピックではじめて競技の様子をじっくり見ることができたのですが、まず選手の皆さんの正確無比な投球に驚きました。そして、何手も先を読んだ戦略や集中力を目の当たりにし、このスポーツの親しみやすさに隠れた奥深さと面白さを知ることができました。特に魅了された選手が個人戦で金メダルを獲得した杉村英孝選手です。杉村選手も静岡県出身の選手です。団体戦ではチームを常にリードし、個人戦では針の穴を通すような見事な投球と鬼気迫るような集中力からは、何年にもわたるたゆまぬ努力を強く感じました。

春野校舎の生徒たちも、自分の立てた目標に向かって日々努力を積み重ねています。一人ひとり目標は違いますし、歩みの速度も違います。ですが、決して諦めることなく「一人ひとりの生徒が夢や希望に向かって努力し、自分らしく生きることを実現する学校」を目指し、教職員・生徒が一丸となって取り組んで参りますので、今後も御支援をよろしくお願いいたします。

◇ 秋葉神社見学 ◇ 下社 9月22日(水)・上社 10月10日(日) 1年生

現在1年生は、春野町の秋葉山を聖山とする「秋葉信仰」について調べ学習を行っています。班ごとに春野町協働センターや天狗村・月花園などに自分たちで連絡を取り、インタビュー調査を実施しました。9月22日には学年全員で秋葉神社下社を訪ね、権宮司さんからお話を伺いました。11HR 渡邊悠成さん「権衞宜さんの話を聞いて、秋葉信仰の歴史の長さに驚きました。秋葉神社が上社と下社に別れている理由や天狗についても知



ることができて勉強になりました。一番驚いたことは秋葉神社と東京の秋葉原が繋がっていたことです。」また、10月10日には有志で秋葉神社上社登山を実施し、頂上で上社の方から宝物殿と秋葉神社に関するお話を伺いました。11HR 田中彪雅さん「春野校舎から上社まで登り本当に疲れましたが、上社から見た景色はとてもきれいで、登ってよかったと思いました。宝物殿の刀もきれいでした。実際にみんなで登ったことで、昔の人が楽しみながら秋葉神社に参拝したという気持ちが少しわかった気がします。」

◇ 古民家カフェ見学 ◇ 10月1日(金) 3年生

春野町で林業とカフェを営む方から地域活性化に関するお話を伺いました。31HR 廣岡大和さん「カフェでは春野ゆかりの飲み物をいただきました。林業見学では、100万円を超える木もあると聞き驚きました。手を加えなければ自然がだめになるという話が印象的でした。」31HR 毛利睦さん「カフェではケーキをいただき、ぶどうの甘酸っぱさとクリームの甘さがとてもおいしかったです。林業見学では、様々な木を見たり、水質が良いところに生息するサワガニを見たりして、改めて春野町の自然環境のすばらしさを実感しました。」

◇ 山ちゃんファーム見学 ◇ 10月1日(金) 1・2年生

春野町で農業を営む「山ちゃんファーム」の代表、山下光之氏を講師に招き、春野町の魅力の発見や現代の農業理解のための校外学習を実施しました。山下氏は春野町で農業を行う意義やドローンや遠隔操作できる草刈機のことなどさまざまなお話をしてくださいました。11HR 長谷川舜さん「両親から農業を継ぎ、価格の決定や土壌病害など様々な苦難を乗り越えた話が印象的でした。また、農業用ドローンがとても大きく、高いところまで飛んで驚きました。」21HR 曾根詩和さん「頼まれごとは試されごと、0.2秒の返事、できない理由を探さない、今できることをやる。この4つの言葉が心に響きました。命をつなぐ農業という仕事の魅力を改めて感じられました。」



←3年生古民家カフェ見学



◇ 体育大会 ◇ 10月6日(水)

今年度もコロナウィルスの影響で観客なし、例年実施している犬居幼稚園との合同競技も中止して感染対策を取りながら大会を実施しました。当日は天候にも恵まれ、全校生徒が一生懸命に競技に取り組みました。11HR 竹口諄さん「100m 走では決勝進出を狙っていましたが、0.1秒差で決勝に出られませんでした。しかし、HR 対抗リレーでは1走目を1位で走りきり、そのまま1位を取れたことが嬉しかったです。1年生が総合優勝も取ることができ、とても楽しい体育大会になりました。」31HR 堂園裕輝さん「最初は順調だったムカデ競争ですが、途中で縄が引きちぎれてしまい、みんなで笑うしかありませんでした。長縄もあと1回で最高記録でしたが、その1回が難しく悔しい思いをしました。優勝はできませんでしたが、みんなのいいところをたくさん見ることができ、自分も目いっぱい楽しむことができた体育大会でした。」31HR 村田真唯子さん「優勝できず悔しい思いをしました。しかし、1・2年生の時には次の日に支障がでるほど疲れていたのに、今回はまだ動き回れるほどの体力があり、3年間で自分が成長したことを感じました。」



※当日の様子は、HP 左側の「春校だより」→「春校だより体育大会写真特集号」をご覧ください！

【天竜文学賞】

天竜高校では、ここ1年間に出版された高校生も共感できる小説に「天竜文学賞」を贈っています。討議の結果、青山美智子さんの『猫のお告げは樹の下で』（宝島社文庫）が受賞作に決定しました。

7月：選考委員へのノミネート本貸し出し

8月：校内選考会議

10月：代表者選考会議

(春野校舎・二俣校舎合同)

12月：著者を招いて授賞式



【部活動結果報告】

ソフトテニス部新人体育大会西部地区予選が10月3日と9日に行われました。本校からは男子2ペア、女子1ペアが参加しました。

長谷川・小川ペア 4-2 天竜高校 (男子)

井上・松山ペア 4-0 池新田高校 (女子)

2ペアが1回戦を勝利し、2回戦に進みました。

ソフトテニス部はバスの関係で他校よりも練習時間の確保が難しい状況ですが、全員1回戦突破を目標に練習に励んでいます。今後ともよろしくお祈いします。



内容についてのお問い合わせは、

〒437-0625 浜松市天竜区春野町堀之内 284 ☎053-985-0306 天竜高校春野校舎内 総務・図書課 までお願いします。

※カラー版「春校だより」は天竜高校春野校舎 HP で！

天竜春野校舎

検索